

学術専門 電子書籍サービス

KaLib カリブ
Kyorinsha Academic Library



学術系書籍を専門に扱うメガストアです。

学協会が刊行した、学術ジャーナル（論文誌）・ガイドライン・テキスト、出版社から刊行された、学術専門書籍・学術専門雑誌などの学術系コンテンツに限定して多数収載しています。

ユーザーは「医療従事者・学術研究者」など **学術に携わる方**です。

学術に携わる方々向けのサービスで、主なユーザーはコメディカルを含む「医療従事者」や、科学系・工学系などの「学術研究者」です。

リーダーソフトは **学術に最適な機能**を追求しました。

学術系書籍を読む上で便利な「十字スクロールモード」や、記事内容について議論を深める「ソーシャル機能」など、医療従事者・学術研究者に便利な機能にこだわりました。

KaLib サービス概要図



【主なユーザー操作】

1. ポータルサイトにて KaLib アカウントを作成
ID:ABC PW:123 (自分の覚えやすい名前でもOK)
2. 使用したいデバイス用の KaLib リーダーをインストール
3. 初めて所属学会の書籍を DL する時だけ学会の ID/PW を入力する。2 回目以降は杏林舎の認証サーバー内に保存されるため不要 (自動ログイン)
4. どの機種からもダウンロードした電子書籍は、KaLib サービスを介して同じ状態が再現可能 (オンラインで同期が必要)

サービス概要

▶ 学会誌から市販学術専門書までをサポート

KaLib (Kyorinsha Academic Library) は、学術に特化した電子書籍サービスです。

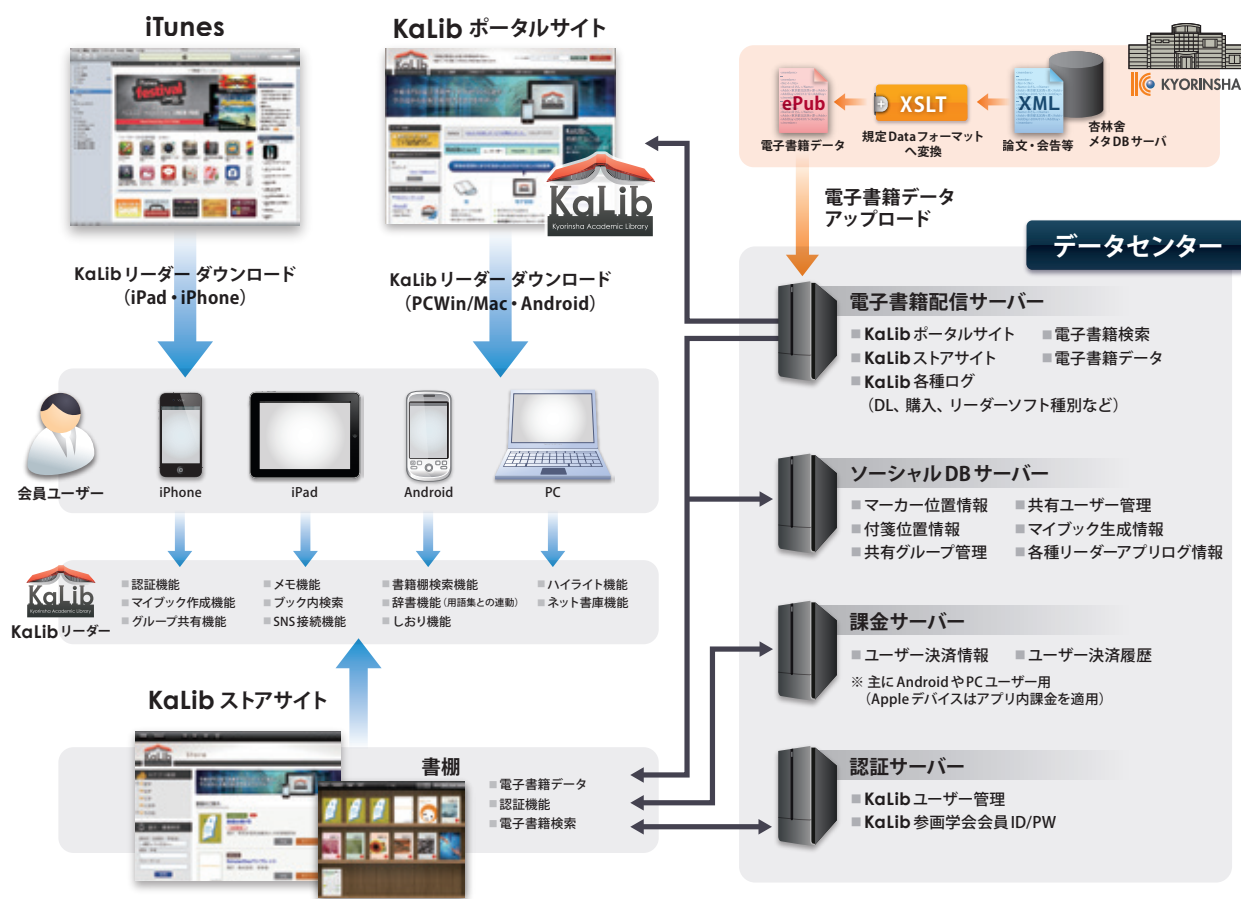
学協会や出版社の垣根を越えて、学術ジャーナル、ガイドライン、テキスト等のコンテンツを出来る限り収載する「ストアサイト (Library)」と、医療従事者・学術研究者が、論文や学術情報の電子書籍を利用する上で何が必要であるかを追求し、既存の電子書籍リーダーにはない便利な機能や読みやすさ、使いやすさにこだわった「リーダーソフト」、複数の学協会から発行されているユーザーIDを統合する「アカウント管理」から構成されています。

利用者はアカウント作成後にiPadやPCなど、お好みのデバイスへ豊富な学術情報の中から必要なコンテンツを取り込み後、閲覧しながらメモをとることが出来ます。メモの内容は別のユーザーと共有したり、TwitterやFacebook等のSNS接続機能を使って議論することが可能です。

また、取り込んだ学術ジャーナルの中から興味のある論文だけをピックアップし、自分だけの本としてまとめたり、別途購入した学術用語集を取り込むと、辞書機能が追加され、さらに便利なリーダーにすることが出来ます。

※KaLibポータルサイト(サービス紹介サイト) → <http://www.kalib.jp/>

KaLib システム概要図



KaLibリーダーの主な機能

▶ 十字スクロール機能

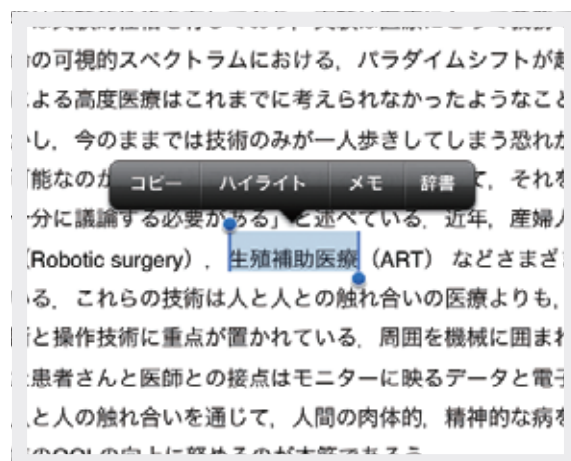
論文や専門書は一般書籍とは文章構造が異なるため一般的な電子書籍リーダーの読み進め方は向いていないと考えます。**KaLib**では論文を読む時には縦スクロール、他の論文には横スクロールで切り替えることが出来ます。是非ともこの読みやすさを体感していただきたいと思います。



▶ ハイライト・メモ・しおり機能

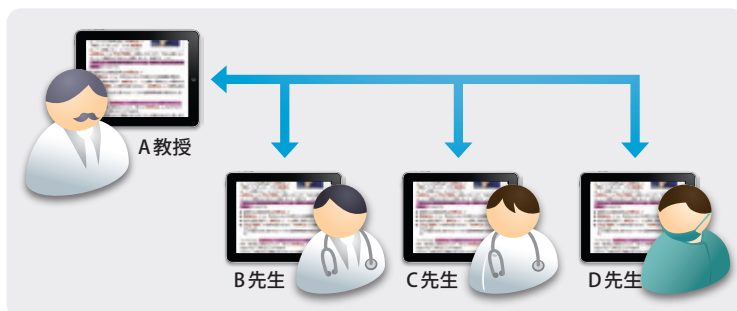
本文中の任意の箇所にハイライトやメモを付けることができます。また、しおりを好きなだけ挿入できるので、気になる論文や章・説、読みかけの位置など色々な目的にご利用いただけます。

付けたハイライト・メモ・しおりは、それぞれ一覧で確認ができ、該当箇所への移動も自由です。



▶ グループ共有機能

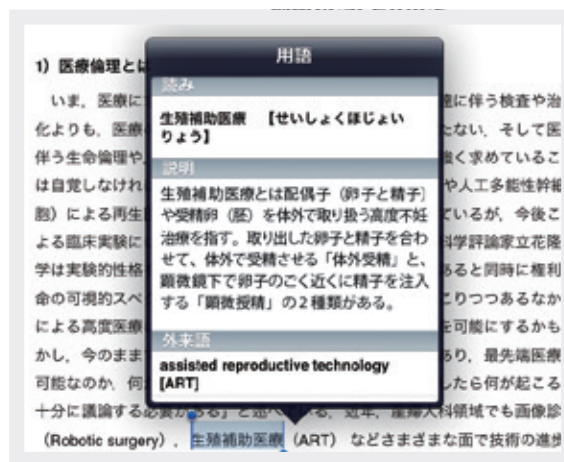
共有登録したメンバー間で、電子書籍につけたハイライトやメモ等を共有する機能です。SNS接続機能に比べ、少人数のグループで情報共有したい時に有効です。



▶ 用語集と連動した辞書機能

用語集を取り込み、閲覧中に調べたい単語を直ぐに調べることができる機能です。

学術に特化した**KaLib**では、様々な学会の用語集を複数登録し、その状況に応じて最適な用語集を切り替えて使用することができます。



▶ マイブック機能

KaLibリーダーに取り込んだ書籍から興味のある論文をセレクトして別の本を作成する機能です。自分の業績だけを集めたマイ業績集やお気に入り論文集が簡単に作成できます。これも学術に特化している**KaLib**ならではの機能です。(次期バージョンにて対応予定)

▶ 検索機能

書籍の検索や書棚の検索が出来る機能です。

KaLibでは、読書中の書籍内を検索する「書籍検索」と、購入・取得した書籍が並ぶ本棚内を検索する「書棚検索」の2つの検索が行えます。

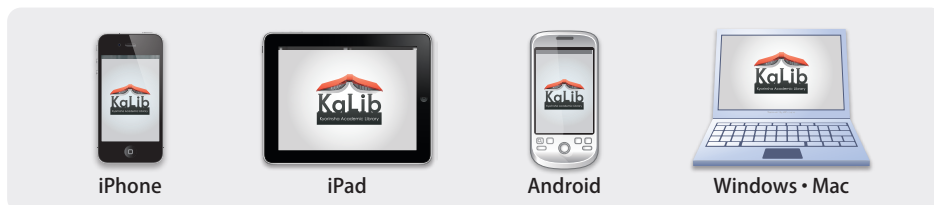


▶ ネット書庫機能

すでにダウンロード済みのコンテンツや、購入済みのコンテンツは全て「ネット書庫」と呼ばれるクラウド上の書庫に保管されます。削除してしまったコンテンツや、2台目・3台目の端末にダウンロードしたい時などにスピーディに再ダウンロードすることができます。

▶ マルチデバイスに対応 [組み合わせ自由で3台まで登録可能]

iPad / iPhone / Android / PCなどの多様な機器に対応しています。



▶ 書籍情報の同期

電子書籍に記入したしおりやハイライト／メモなどを、**KaLib**に登録している3台の機器間で同じ状態を再現します。例えば自宅でiPadからハイライトやメモした状態が、勤務先や出張先のスマートフォン等でも同じ状態で表示させることができます。



▶ 所属学協会の統一認証

複数所属されている学協会の会員認証を**KaLib** アカウント1つに統合する機能です。今までのように所属学協会分のIDやパスワードをその都度入力する必要はありません。

機能一覧 (※今後実装予定の機能を含む)

ストアモード	● 電子書籍購入 ● 新着情報・新刊のご案内 ● 電子書籍検索	● マイメニュー ■ 登録デバイスの変更 ■ アカウント情報の変更 ■ 退会
ローカル書籍棚モード	● ダウンロードした書籍の閲覧 ● ハイライト機能 ● メモ機能 ● 文字拡大・縮小機能	● 検索機能 (ブック内・書籍棚内・KaLib内) ● 用語集と連動した辞書機能 ● 十字スクロール機能 ● ネット書庫機能
共有書籍棚モード	● 共有グループ登録設定機能 ● ハイライト共有機能	● メモ共有機能
マイブック書籍棚モード	● マイブック作成※ ダウンロード済みの書籍を対象に、特定の記事や論文だけをまとめて新たな書籍を作成することができます。	
外部ファイル取込棚モード	● 外部ファイル (PDF) 取込機能※ ご自分の資料やデータを予めPDFファイルに変換しておけば、そのPDFをKaLibリーダーに取り込むことができます。	

電子書籍サービスKaLibをお薦めする理由

学術研究者の皆さんにとってのKaLib



業務に必要な市販書籍はもちろんのこと、市販されていない学協会の学術ジャーナルやガイドライン・用語集・セミナー／講習会などのテキストなどありとあらゆる必要な物を全て入手することができます。厚くなりがちなガイドラインを携帯性と検索性に優れたものに変えることも可能です。

また、リーダーソフトは学術書籍を読む上で便利な機能や読みやすさを追求しました。多様化するライフスタイルのニーズに対応するため、マルチデバイスに対応し、かつ同期機能を提供することにより、いつでもどんなデバイスで見ても同じ読書環境を提供します。

さらに次期バージョンでは、ユーザーデータの取り込みも出来るようになるため、情報の一元管理がKaLibリーダーで出来るようになります。

学協会様にご採用いただくことによって、複数所属されている学協会のコンテンツを一括して購読・管理できるようになります。

学協会の皆さんにとってのKaLib



電子化による最大の効果は配送費や印刷に伴う用紙代の削減によるコスト削減です。

すでにオンラインジャーナルを導入されている場合でも、論文記事はもとより冊子体が持つそれ以外の会告、委員会報告などのコンテンツをパッケージとしてまとめることでの利便性やメモの書込み、気になるポイントをグループ内で共有する機能など電子書籍独自の機能を会員の皆さんへ提供することで会員サービスの充実が図れます。

他にもペーパーレス化を導入する際にオンラインジャーナルと印刷物の中間的な存在である電子書籍を活用いただければ、会員サービスを低下させることなくスムーズな移行が可能となります。

また、紙の冊子体同様に広告も入れることができますので、ペーパーレス化の後も広告収入を得ることが可能です。

出版社の皆さんにとってのKaLib



KaLibは学術に特化した電子書籍サービスです。ここを訪れる方々は学術情報を広く求める学術研究者や医療従事者になります。一般書店では取扱が難しい専門書籍でも属性が決まっている購買者が多いことで販売機会は多いと考えます。

また、紙の書籍と異なり電子データからなる電子書籍は在庫リスクがなく、ロングテール効果も見込めます。



杏林舎の強み クロスメディアを意識した、XMLワークフロー

杏林舎は昭和21年に始まり、現在約110の主要な学協会を支援する日本の代表的なサービスプロバイダーであり、研究論文やアブストラクトを紙とオンラインでクロスメディア出版する事業をサポートしています。

お預かりした原稿データはNLM-DTD準拠のXMLメタデータとして作成され、その用途に応じて「印刷—DTPデータ」、「電子ジャーナル—HTMLファイル」、「電子書籍—ePubファイル」と効率よく変換され、状況に応じた最適な出版物を作成することが可能です。また、今後新たに登場するファイル形式や新たなメディアへの対応も容易です。

杏林舎ではこのようなXMLワークフローを中心に多様なサービスを展開しており、電子書籍とWeb、印刷などを同時にご提供するワンストップサービスをご提供しております。



株式会社 杏林舎

〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10

TEL 03-3910-4311

E-mail kalib@kyorin.co.jp

URL <https://www.kalib.jp/>

